

ハローワーク舞鶴から新たなメニューが誕生します



「ハロちょこワーク」はハローワークの安心感と信頼性を基盤にしなが、「ちょこっと」働くことで「仕事・収入・経験をプラス」できる新しい働き方の表現として、ハローワーク舞鶴が独自に打ち出す求人のアピール方法です。

- ・「ハロ」…ハローワーク(公共職業安定所)が提供する求人で公正な採用選考を実施
- ・「ちょこ」…「ちょこっと(少しだけ)」働くことで、短時間から活用できる柔軟な働き方
- ・「ワーク」…単なる短期バイトではなく「継続雇用」が前提

🔗「ハロちょこワーク」の基本コンセプト

「ちょこっと働く、でもずっとつながる」

現代の働き方はかつてのような「フルタイムかパートか」の二択ではなく、ライフステージや状況に応じて、柔軟に仕事を増やしたり減らしたりすることで、育成や定着につなげていく選択肢も求められる時代になっています。

そこで「ハロちょこワーク」は、次のようなコンセプトで設計されています。

① 短時間勤務でも継続雇用を重視

- 🔗 1日1時間～、週1～2日～働ける
- 🔗 単発やスポットではなく、安定的に働ける仕組み
- 🔗 ライフステージの変化に応じて、働く時間を調整するきっかけに

② 働ける時間を組み合わせて、収入や経験をプラス

- 🔗 「扶養内で働きたいけれど、収入が足りない」
- 🔗 「子育てや介護の合間にできる仕事をしたい」
- 🔗 「家計のために少しだけ収入を増やしたい」
- 🔗 「年金にプラスしてもう少し働きたい」

こうしたニーズに応え、短時間でもムダなく働ける仕組み

③ 企業の人手不足対策にも貢献

- 🔗 「短時間で人材を確保したい」企業のニーズにも対応
- 🔗 「基幹業務はフルタイム社員が担当し、補助業務を短時間勤務者でカバー」するなど仕事内容を分割して精査することで役割分担
- 🔗 「少しずつ働いて、将来的に長時間勤務に移行する」ことで、戦力の育成・定着率向上にもつながる

🔗「ハロちょこワーク」で目指す未来

- ✔ 求職者にとっては…「ちょこっと働くことで、無理なく収入やキャリアをプラスできる」
- ✔ 企業にとっては…「人手不足の時間帯を埋め、必要な時間帯だけ働ける人材を確保できる」
- ✔ 地域社会にとっては…「多様な働き方を支え、働きやすい環境を整備することで、持続可能な雇用へ」

「ちょこっと働く」ことから、「求職者の収入・企業の人材・地域の雇用」をプラスにする、

それが「ハロちょこワーク」の目指す未来です。